



いなほ

稲積神社社報

第64号

令和8年 新年号



表紙の説明はP 5に記載されております

宮司	権禰宜	権禰宜	権禰宜	権禰宜	権禰宜	権禰宜	責任役員	責任役員	名譽総代	総代	総代	総代	総代	総代	甲府伊勢講講元	崇敬青年会会長	稲積睦会長	敬神婦人会会長	崇敬会友の会会長	いなほ会会長	和会会長	いなづみ会会長	崇敬会常若会会長										
根津明昇	根津明昇	根津明昇	根津明昇	根津明昇	根津明昇	根津明昇	根津明昇	根津明昇	根津明昇	根津明昇	根津明昇	根津明昇	根津明昇	根津明昇	小野隆彦	五味宏彦	高政宏彦	井上美彦	大森良彦	河野久彦	渡辺敏彦	須田進彦	花輪武彦										
根津明昇	根津明昇	根津明昇	根津明昇	根津明昇	根津明昇	根津明昇	根津明昇	根津明昇	根津明昇	根津明昇	根津明昇	根津明昇	根津明昇	根津明昇	長規	藤丸康信	金丸直樹	西野直樹	高野直樹	五味直樹	新藤重良	井上重良	野口重良	内田重良	小村重良	志村重良	伊藤重良	河野重良	保田重良	渡辺重良	篠原重良	土肥重良	根津明昇

外郭団体

謹賀新年

新年を迎え



総代
新藤 淳

新年あけましておめでと
うございます。
皆様には健やかに新春を
お迎えのことと、心よりお
慶び申し上げます。

昨年、私たちを取り巻く
社会や環境はこれまで以上
に大きな変化を経験し、顕
著な地球温暖化や身近に起
こる気候変動、環境汚染、
戦争、円安、輸出関税、物
価高、熊による被害、少子
化など、多くの課題に直面
する一年となりました。し
かし同時に、こうした出来
事は私たちに、命の尊さや
自然との共生の大切さ、人
と人とのつながりのありが
たさをあらためて気づかせ
てくれた一年でもありまし
た。日本の主食である米の
不足や、価格高騰を通じ、
日々の暮らしの尊さや、子
どもたちが安心してお腹い
っぱいご飯を食べられるこ
とのかけがえのなさを再認
識された方も多いことでし
ょう。

一方で、人工知能(AI)
などの新しい技術はかつて
ないスピードで発展し、私
たちの暮らしや社会に新し
い可能性と恩恵をもたらし
ています。便利さの裏側に
潜む課題にも目を向けつつ、
こうした技術を正しく活か

し、より豊かな社会づくりに
へと役立てることが、これ
からの私たちに求められて
いるのではないでしょう。か
環境の変化に柔軟に対応し、
正しい力を見極める眼と
感じる力、そして互いを思
いやる心を携えて歩むこと
が、よりよい未来を築く力
になると確信しております。

このような時代の中にあ
っても、神道・神社という
不変の拠り所があることは、
私たちに大きな安心と希望
を与えてくれます。人知を
超えた変動のなかで、心を
鎮め、襟を正し、神に祈る
ひとときの尊さを、あらた
めて感じる方が増えており
ます。古来より受け継がれ
てきた神聖な場所を守り続
けることは、地域の絆を強
め、人々の心を一つに結ぶ
大切な役割を担ってきまし
た。毎年五月の「正ノ木ま
つり」においても、コロナ
禍を乗り越え、世代を超え
て多くの人々が集い、喜び
と感謝を分かち合う光景は、
まさにその象徴であり、私
たちに勇氣と活力を与えて
くれます。これからも、こ
の尊い伝統を未来へつなぎ、
皆様と共に守り育んでまい
りたいと存じます。

本年も、世界は確かに変
化を続けてまいります。し
かし私たちは、その変化を
恐れるのではなく、希望を
胸に、大切なものや文化を
守りながら、一歩一歩前へ
進んでまいります。人と人
とのつながりを大切にし、

互いに支え合う心を忘れず
に歩むならば、必ずや明る
い未来が開けると信じてお
ります。変化は試練である
と同時に、新しい可能性の
扉でもあります。しなやか
に、そして力強く対応し、
地域全体で笑顔と温かさに
満ちた一年を築いていきたく
いと願っております。

早朝のお参り



崇敬会会員
小口 博

私が稲積神社へ早朝のお参
りをするようになったきっかけ
をお話します。私はほぼ
毎日遊亀公園にラジオをつる
して集まってきた人たちと一
緒にラジオ体操を行っていま
す。そしてそのうち体操の前
にもう少し早く起きて運動を
足したいな、と思うようにな
りました。それでちょっと体
操の前に稲積さんに行けば運
動もできるし、お参りもでき
るし、で一石二鳥などという
簡単な気持ちで始めたのがき
っかけでした。

実際に始めてみると一石二
鳥などという軽い気持ちはい
つぱんに吹き飛びました。
鳥居をくぐると朝の空気が
澄み切っていて外界とは隔た
れた世界に入ったように感じ
心がスッと静まります。手水
で手と口を清め拜殿の前に立
つと、早朝の空気に包まれ

て、今日も一日が始まると自
然に頭が下がります。
お参りの途中で宮司様たち
が境内を掃除し、清められて
いる姿をよくお見掛けし挨拶
を交わさせていただいており
ます。黙々と落ち葉を掃き境
目を整えている姿に、いつも
頭が下がります。そのお姿か
ら神様への信仰と地域を思う
温かさが感じられ、感銘を受
けています。

参道を歩いて行くと、木々
の間から野鳥のさえずりが聞
こえ、隣の動物園からは、と
きおり猛獣の吼える声が響き
ます。少し不思議な組み合わせ
ですが、その音が混じり合
う朝の音は、稲積神社ならで
はの風景です。生命の息遣い
を感じながら歩いてみると、
まるで自然と共に参っていると
いうような気持ちになります。

拜殿の前に立つと、いつも
背筋がピンと伸びます。神社
特有の結果に入ると、空気が
一段と張りつめ、心の中のざ
わめきが浮かび上がるよう
です。それでも、不思議と怖さ
や重たさはなく、むしろ神様

が迎えてくださっているよう
な安心感があります。神殿に
向かい手を合せて神拝詞を唱
えていると、神様から背中を
そっと押してもらっているよ
うな気がします。お参りを終
えて帰るころには、心が軽く
なり今日一日を充実して過ご
そうと思えるのです。

私は、今年で七十一歳にな
りました。年を重ねても、悩
みはつきません。健康のこ
と、家族のこと、仕事のこと
は変わっても、心が揺れるこ
とは、誰しもがあることでし
ょう。それでも、こうして早
朝にお参りすると、不思議と
気持ち落ち着きます。また
今日から、と前を向けるので
す。

ひと月の楽しみは、毎月一
日に賽銭箱の上に置かれてい
る、お札やお清めの塩、神饌
のお米を授けて頂く事です。
頂戴したお米を家の米と混ぜ
て炊き、それをいただくのが
本当に美味しいのです。毎月
のいただきますには、神様の
恵みと宮司様たちのお心が込
められているように感じま
す。

稲積神社は、私にとつて、
心のもちよう、そして日々の
気持ちや新たな場所です。
これからも、早朝のお参
りを続けながら、神様と先祖
への感謝の気持ちを忘れず
に、穏やかな心で一日一日を
大切に重ねて行きたいと思
います。

午年生 所感

稲積宜

伊藤 裕之



私は昭和四十一年（丙午）

生まれですので、還暦を迎えました。まだまだと思っただけですが、時間が経つのは早いものです。高校の教員としておりましたが、家が神社の関係ということもあり、稲積神社には平成十三年からこれまで二十四年間にわたり神職として御奉仕させていただいております。亡父（伊藤裕久）がお世話になっていた頃から数えれば、半世紀以上になります。

これまで根津泰昇宮司様、奥様をはじめ職員の皆様には大変お世話になり、多くのことを学ばせていただきました。根津宮司様は毎朝四時に起床し境内の清掃をされるそうですが、尊敬の限りです。そのことのみならず、神様へ

の御奉仕、氏子崇敬者への啓発事業、神社の運営、境内の整備等々、見習うことばかりでした。山梨県神社庁長をされていたときは、全国との連絡調整、山梨県のとirimとめなど目に見えない多数のお仕事をこなされ、どれほど御多忙でいらつしやうたことかと思ひます。そのような中でもわからないことや困ったことがあり相談をすると、いつも優しく穏やかに教えてくださいました。

さて、神社は皆様の心のよりどころとして鎮座してまいります。そのような神社を守っていくことは、容易なことではありません。神社関係各位の御協力をいただきながら常に神社の運営や改善を考えていかなければなりません。少子高齢化が進み社会が急激に変化している中で、神社とは何かということや神職だけではなく、地域や関係の皆様と話し合い協力しながら進めていくことは全国的な急務だと思います。日本の伝統である暮らしの

中から生まれた神々は八百万の神であり、海の神、山の神、風の神、衣食住や生業を司る神、国土開拓の神、さらに偉人や祖先の御霊の神などさまざま、その歴史ははるか縄文時代にさかのぼるとも言われています。奈良時代にできた『古事記』『日本書紀』には、多くの神々の系譜や物語が収められています。

神職が唱える祝詞には、その人その人の願いや、神様への感謝、家族が災禍なく安全に過ごせますようにという意味が込められています。私も還暦を機にさらに神明に御奉仕する気持ちを高めていきたいと思ひます。

常若会会員

長田 淳



今年、私は年男を迎えます。干支が一巡して自分の生まれ年が再び巡ってくるとい

うのは、自分の人生の節目を感じる出来事であり、これまでの歩みを振り返り、これからの方向を見つめ直す良い機会だと感じております。

二〇二五年は大変大きな出来事があり私の人生を大きく変えました。また、それは年男になる私に大きな責任が回ってきたのだと今は感じております。

振り返ってみると、順風満帆な人生ばかりではなく、悩みや試練も沢山ありました。仕事の事、家族の事、友達の仕事。

しかし、それらの経験を通して支えてくださった方々の存在の大きさを改めて実感し、感謝の思いが一層深まりました。人は一人で生きていくのではなく、家族や仲間、地域や社会とのつながりの中で成長していくものだ。

干支の巡りには「成長と再生」の意味があると聞きませす。年男として迎える新しい一年を、これまで培ってきた経験をもとに、さらに飛躍する一年にしたいと考えていま

す。これまでの学びを糧に次の挑戦へと踏み出す覚悟を持ち挑み続けたいと思ひます。

また、年男という節目は、単に年齢を重ねることを祝うだけでなく、自分の役割を自覚し、次の世代に何を伝えられるかを考える時期でもあります。自分がこれまでに受けた恩を少しでも周囲に恩返しし、社会の中で小さくても貢献をしていけるよう努めていきたいと思ひます。

自分らしさを見失わず、柔軟に学び続ける姿勢を大切に、年男として迎える今年を、新たなスタートラインと捉え、感謝と希望を胸に、一歩ずつ前へ進んでいきたいと思ひます。

最後になりますが、これまで支えてくださったすべての方々に心より感謝申し上げます。とともに、皆さまのご健康とご多幸をお祈り申し上げます。年男としての節目の年が、私にとって、そして皆さまにとっても実り多い一年となることを願っております。

稲積神社敬神婦人会会長に就任して

敬神婦人会 会長

井上良美

隣町の正ノ木さんと親しまれている稲積神社にご縁があり、沢山の事を学ぶことが出来ました。専業主婦の私が大勢の人達と知り合い、今迄にない生活にびっくり：視野が広がりました。

震災で焼失した拝殿は、昭和二十九年に復興し、昭和四十八年に新たに参集殿が完成いたしました。実行委員の方々のご苦労から相撲場、祓所、手水舎、狛犬、神田、興石守郷翁の碑、針供養塔、熊野社、等々大変



新会長就任式

立派なお社に!!その一つに迷い子しるべ石、尋ね人を探すという当時の賑やかな様子がよくわかります。

当神社の敬神婦人会は山梨の神社の中で最初の会と聞いております。本当に誇りある会と思っています。今は当神社の外郭団体の中の唯一の女性の会です。私が入会してから二十余年、月日のたつのが早くて...

令和に入り、コロナ禍によりすべてが停止状態での数年間でした。皆様などかのかのりこえて今日の活動があります。老いても女性。

全国氏子青年協議会沖縄大会に参加して

崇敬青年会々々長

五味隆彦

令和七年七月四日から二泊三日の日程で、全国氏子青年協議会、第六十三回沖縄大会に青年会メンバー七名で参加してきました。昨年は全国的に、初夏から猛暑・酷暑が続いていま

祈りの心を大切に。しなやかで時には跳ね返す竹の様に強い力を持ち、ステキな仲間と協力し次の世代に：と思っております。誰かを慰め誰かによって励まされるそんな婦人会であります。

祈る心を大切に。人生後期余生を。脳体力をもちクオリティオブライフ。お散歩気分分で一日一日を大切に思っております。彩ある人生を婦人会の皆様と一緒に

和八年は婦人会三十年を迎えます。これからの営みの中で人の和が生まれると思えます。そんな婦人会が長く長く続きます様、皆様応援よろしくお願い致します。

1ステーキを食べに行きました。私は初めて食べたのですが赤身のしつかりとした肉で、おいしく頂きました。

昨年は戦後八十周年を迎えると重なった中、英霊顕彰祭を沖縄県氏子青年協議会の主催の、神道青年全国協議会の元、全国氏子青年と共に沖縄県護国神社にて斎行されました。皆さん上下、黒色の正装で、静かで厳粛な雰囲気の中一分間の黙とうをささげました。

英霊顕彰祭終了後に護国神社から波上宮まで平和を祈願し進行をし、初日の予定を終了しました。夜は、当会前会長の大澤さんの知人から案内頂き沖縄民謡居酒屋・泡盛・あぐり豚・飲み屋、など沖縄を食べて飲んで楽しく過ごしました。

翌日は、正式参拝があり、波上宮にて正式参拝に行きました。波上宮は、崖の先端で海が見渡せる場所に鎮座し、豊漁・豊穰・航海の安全の神社で琉球八社の第一の神社と尊崇されているそうです。神社から海が見えるのですが、この澄み切った穏やかな海を見ていると、八十年前の、あの悲惨な戦争が有ったことはとて

も想像ができませんでした。正式参拝終了後、定期総会・講演会が行われ夕方からは、お待ちかねの大懇親会が始まりました。沢山の料理とお酒が並び、沖縄民謡エイサー・獅子舞・太鼓などリズムカルな踊りを拝見し沖縄の県民性・人柄を感じた懇親会でした。

結びに、沖縄に来て、沢山の観光客の皆さん・県民の明るさ・華やかな街並み・青く透き通った海を見ていると、八十年前に戦争があったことが想像できませんでした。英霊顕彰祭に参加し、改めて、戦争の無意味さを感じました。今まだ世界でロシア対ウクライナを始め沢山の戦争が行われています。私達も何か行動を起こさなければいけないと思えました。良い経験

を有難う御座いました。



沖縄県護国神社前

全国敬神婦人会 青森大会に参加して

敬神婦人会 副会長
河村由里

八月二十五日から二泊三日で山梨県内の敬神婦人会メンバー十四人で参加いたしました。稲積神社からは土肥権禰宜と私の二人での参加です。

秋田空港に到着後、比内地鶏の美味しい親子丼をいただいでから太平洋山三吉神社総本宮へ正式参拝をさせていただきました。御祭神は大己貴大神（おこなむちのおおかみ）《家内安全・



青森全国大会での式典

縁結びの神》、少彦名大神（すくなひこのおおかみ）《健康、子授けの神》、三吉霊神（みよしのおおかみ）《勝利成功・事業繁栄の神》です。

古くから、三吉信仰として北海道から東北各地、ブラジルにも祀られています。秋田の冬の風物詩として親しまれている、三吉梵天祭はけんか梵天とも呼ばれる威勢のよさと勇壮さで知られ、五穀豊穰・家内安全、商売繁昌など一年の幸を願う梵天（ぼんでん）と呼ばれる神様が宿る依代を神社に奉納します。

その後、移動してなまはげ館・男鹿真山伝承館の見学です。男鹿のなまはげは国指定重要無形民俗文化財、ユネスコ無形文化遺産に登録されています。その『なまはげ問答』を臨場感たっぷりに体験しました。

男鹿温泉に宿泊し、熱し



男鹿のなまはげ

た石を桶に入れ、その熱で魚介や野菜を煮込む豪快な鍋料理、名物『男鹿の石焼料理』を堪能しました。

二日目は青森に向けてバスを進めてリンクステーションホール青森に到着し、第七十五回全国敬神婦人大会青森大会に参加しました。

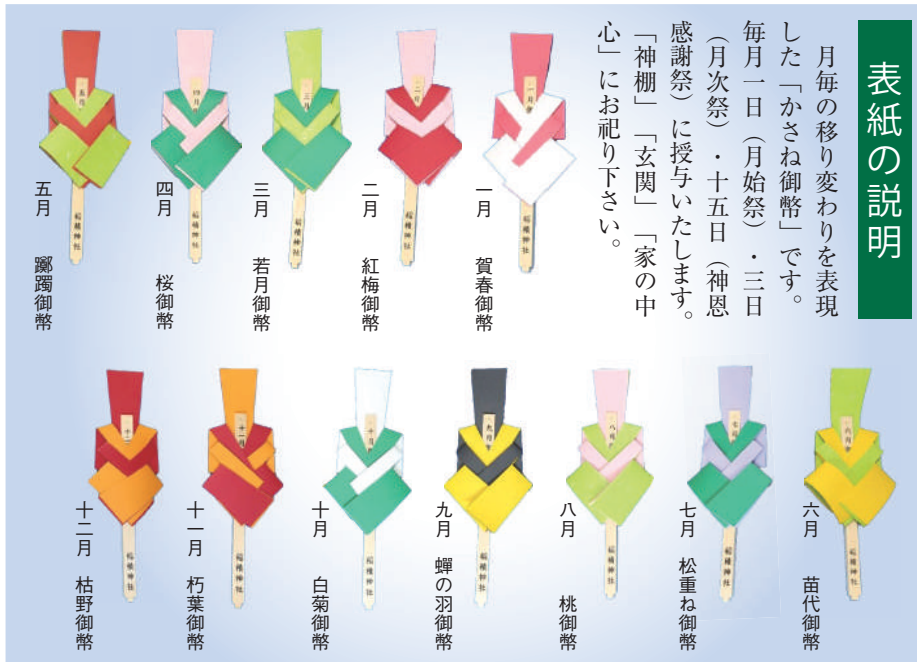
清興では津軽三味線奏者、山上進氏の迫力ある津軽三味線を聴きました。その後、式典、議事を終え、記念講演には青森で活躍する王林ちゃんを配したご当地アイドルをプロデュースされている樋川新一氏の楽しいお話と『りんご娘』のライブ

を楽しみました。夕食はねぶた祭を体験できるお店で、青森の地酒、津軽三味線に『らっせらく』と鈴を鳴らして踊った楽しい宴でした。

表紙の説明

月毎の移り変わりを表現した「かさね御幣」です。毎月一日（月始祭）・三日（月次祭）・十五日（神恩感謝祭）に授与いたします。「神棚」「玄関」「家の中心」にお祀り下さい。

今回の全国敬神婦人会に参加して、その地の美味しいお料理、郷土の伝統に触れ感じる事ができました。ありがとうございました。



令和八年 丙午・一白水星 運 勢

宮司 根津 泰昇



丙午は天馬といひ神馬をさす。神が乗る馬であり、神社に奉獻する馬馬としての役割が少ないため、本領を發揮することが出来ない。今年も本領を發揮する活動するならば強い運氣があるのでは生活向上につながる。

一白水星は伸びようとして努力を重ねても伸び得ない年なので、今年はいつより数倍働くことにより衣食住が安定する。従って肝要は努力をおしします働くことが肝要。

☆一白水星(平運期の注意)

運の力が核に回座いたしますので力は充分にあります。故に活動的な考えや、行動を促される動きを生じます。動けば動く程悪化作用を生じますので、慎重な行動が必要。本年は変動運です。

○昭和三十八年生 六十三歳

慎重な行動をとる。自己本位の行動に移す。自己本位の行動をとると失脚する恐れがある。注意。

○昭和四十七年生 五十四歳

言動には警戒や慎重さが大切な年です。怠ると破滅や失敗の原因を引き起こす。用心が必要な年です。

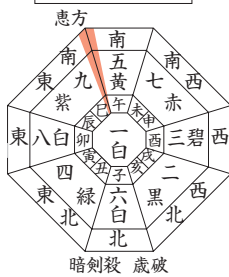
○昭和五十六年生 四十五歳

慎重な言動に徹することにより人間関係も円滑に進み引き立てもあり信用を得るでしょう。反面不和事も生じ易い面もあるので、行



方位除守

ラッキー色 白色



暗剣殺 歳破

令和八年方位吉凶図

き過ぎには注意が必要です。平成二十二年生 三十六歳 女性性は本厄です。厄除祈願をお願いします。本厄の年なので自身の管理をする事。自分の本位の行動を起こすと非難、反対を受け不和事の障害を招きますので健康管理をしっかりとして下さい。平成二十二年生 十八歳 女性性は本厄です。厄除祈願をお願いします。人生初の本厄を受け年です。諸事がスムーズに進展りません。初めは大過なくとも終りは禍を生じるといった宿命運の

Table with columns: 星 (Stars), 誕生年 (Birth Year), 吉方位 (Auspicious Directions). Rows include stars like 一白水星, 二黒土星, 三碧木星, etc.

年です。生活は平穏不動の精神が必要。諸事 見送り。吉方 東・北・南・西。二黒土星(平運期の順調運) 注意運を抜け順調運に回座してきましました。基礎固めするには良い時期です。何をすべきか熟慮をすること。肝要。しかし前半は注意が必要です。昭和三十七年生 六十四歳 安定した年です。又諸事に恵まれる年でもあります。慎重さに怠ると逆の相がありますので失敗や失うことの原因となりますので注意。昭和四十六年生 五十五歳 過ごせれば目上からの引き立てもあり信用を得るでしょう。何か目標をもつ事。昭和五十五年生 四十六歳 前半は注意が必要な年です。自己管理をしっかりして下さい。強

情な姿勢を表面に出すと非難反対を受けることがあります。又病難にも注意が必要です。昭和十四年生 平成元年生 三十七歳 女性性は後厄です。厄除祈願をお願いします。女性性は最後の厄年で、慎重な言動を心掛けて下さい。神社参りをして神恩に感謝の気持ちを捧げましょう。向上発展につながることでしよう。平成十年生 二十八歳 変動運から抜けた年なので特に前半は注意が必要です。地に足を付けて慎重な行動が大切です。平穏不動が肝要です。平成十九年生 十九歳 女性性は後厄です。厄除祈願をお願いします。諸事がスムーズに運びませぬ。親や目上の人のアドバイスを受けることにより、正道な方向に進むでしょう。諸事 前半は注意。後半は順調 建築事、開店吉。吉方 東・南・西。凶方 北・東・南・西。三碧木星(平運期の順調運) 順調に進んで来た方は保持しながら前を見据え着実に前進しましょう。思うように進まず方向転換するには今がよい時ですので熟慮し判断をして下さい。後半は注意が必要な時です。昭和三十六年生 六十五歳 足を地につけて目配りをお心掛けて生活することにより精神も安定し信用も得る。今後の青写真作りには良い年でしょう。自己管理に努める年です。自己主張を通したりすると非難反対を受け心身の苦勞が生じ、病難の相もある。自己管理をしっかりと。昭和五十四年生 四十七歳 プラス思考で歩んで良い年です。神仏への信仰に思いを寄せることや参拝することで、向上発展の道が探せるかもしれませぬ。昭和六十三年生 三十八歳 諸事が成らんとし成り難い年です。ので熟慮すること肝要です。あせらずに一歩一歩あゆんで、平穏不動な精神が肝要です。平成九年生 二十九歳 諸事がスムーズに進まず悩み事が生じます。又失う相もある。ので諸事に管理が必要です。足元を固めて生活しましょう。平成十八年生 二十九歳 自己主張は控えることです。主張しすぎると朋友知己との離反や孤立がおこります。熟慮することが肝要です。諸事 建築事、開店 新規事吉。吉方 北・東・南・西。凶方 北・東・南・西。四緑木星(衰退期の注意運) 衰退期に入る年なので、諸事がスムーズに進まず、変化が起こることが多い年です。精神的にも金銭的にも不安定な年です。慎重に歩むよう心掛けて下さい。昭和三十五年生 六十六歳 諸事が安定しないのでいら立つ気持ちが生じ、強情を通すこともあり、スムーズに進まず不和事が生じる相があります。又病難の相もありますので慎重に歩むこと肝要です。昭和四十四年生 五十七歳 注意すべきことを遵守して生活することにより順調に進むでしょう。特に諸事に努力を重ね、神社参りにすることにより信望を得るでしょう。昭和五十三年生 四十八歳 不安定な年で、諸事に天恵薄く不名誉を受けることが多い時期です。物事の始めは順調に感じるけど終わりは不動な順調に感じることが多いので平穏不動な精神が肝要な年です。昭和六十二年生 三十九歳 諸事がスムーズに進まず、所有するものが失う相のある年です。投資事は注意が必要です。又自己管理もしっかりと。平成八年生 三十歳 自己心を強調すると、人や諸事との縁が薄くなりますので自己管理に努めること肝要です。平成十七年生 二十一歳 今まで歩んできた精神から脱却して、自立する精神を養うよう努

力して下さい。自己心の強調は禁物です。

○諸事 見送り

○凶方 東・南・西
北・北東・南・南西

☆五黄土星(衰退期の順調運)

順調運なれど真退期にあるので善かれ悪しけれ諸事が区別つかない不安定さがある。表面は華やかに見えるが内実はスムーズに進まないことが生じる年。熟慮した言動をとることが肝要。

○昭和三十四年生 六十七歳

運勢の満願に近づいてくる年です。人生の道程を検証して将来の青写真を模索することにより身分の向上を期す年です。

○昭和四十三年生 五十八歳

何をしても諸事がスムーズに進まず、不名誉を受けたり失権を受けたりし、気持ちに安堵感がない年です。平穏不動の精神が必要

○昭和五十二年生 四十九歳

精神的にも迷いが生じ易く安定しない年で、経済的にも順調に進まず物を失う事が多く、離散事も生じ易い年です。自己管理が大切です。

○昭和六十一年生 四十歳

願をお受け下さい。人生でも節目な年を迎えるので自己管理と行動には注意すること。孤独、離散の相もある年です。注意。

○平成七年生 三十一歳

願をお受け下さい。自己管理が大切な年です。自我の強調が強く表面に出ることがあるので注意。不名誉や怪我、病難に注意。

○平成十六年生 二十二歳

精神の温順に気持ちを傾けることにより、将来の道づくりに役立つことと、日本の文化に接することや神社参りをすると発展の道につながるでしょう。

○諸事 前半は吉

○凶方 東・東南・西北・南西
北・南

☆六白金星(衰退期の衰退運)

衰退運諸事に注意が必要な年です。本年は暗剣殺・歳破の凶作が必要になります。何事にも慎重に対応することが肝要です。厄年の方は特に注意して下さい。星除祈願をお受け下さい。

○昭和三十三年生 六十八歳

運勢の満願期に近づいています。自己中心的な言動をとると、不名誉を受けたり病災、別離の宿命運があります。平穏不動な精神肝要。

○昭和四十二年生 五十九歳

願をお受け下さい。慎重な言動が必要ですが、財産、金銭を失う宿命運があります。経済的管理が大切です。自己主張が強くなると別離の宿命運もあります。

○昭和五十一年生 五十歳

自我心が表面に出るので、注意が必要です。自己主張が強くなり分離が生じ、朋友との離反があります。

○昭和六十年生 四十一歳

願をお受け下さい。諸事がスムーズに進みません。自己管理をし、身勝手な言動は慎むこと。不名誉を受けたり分離がある年です。注意。

○平成六年生 三十二歳

願をお受け下さい。女性は厄年を受けているので言動には注意が必要です。自己管理が出来るなら衣食住に恵まれます。男性は積極的な行動は控えること。

○平成十五年生 二十三歳

願をお受け下さい。言動に注意し、正道を歩むことにより、諸事の発展に繋がります。男女共良縁に恵まれます。身勝手な言動は禁物です。

○諸事 見送り

○凶方 東・南西・西北
北・南

☆七赤金星(盛運期の順調運)

衰退運から盛運期に移行年です。徐々に移行しますので、前半は諸事に注意が必要です。言動には十分注意をしながら今後の計画を立て準備をすることは良い年です。

○昭和三十三年生 六十九歳

運勢も満願に近づいています。自己主張を強く出すと経済的に下降し、離散、苦情の種を播くことになりやすいので注意。

○昭和四十二年生 六十歳

願をお受け下さい。前半は言動に注意。特に自我心を表面に強く出さないようにすること。平穏な心で生活して下さい。

○昭和五十年生 五十一歳

言動には充分注意下さい。衰退期から盛運期の移行が順調に進まないと精神不安定になり、誤解非難を招き、不名誉を受けやすくなります。又怪我、病難に注意。

○昭和五十九年生 四十二歳

願をお受け下さい。前半は言動に注意。後半は吉福を得る年です。足を地につけて安定した行動をするには力不足です。募参り、神社参りをして精神の安定が得られます。

○平成五年生 二十三歳

願をお受け下さい。前半の言動に注意し、身の回りに気配りにすることにより、後半には諸事がスムーズに進み信用も得るでしょう。反面酒席には注意が必要です。

○平成十四年生 二十四歳

願をお受け下さい。運勢が自分自身の生気できき出す時期です。積極性があります。迷いや悩みもあります。年上の人の意見を聞くのも大切です。警戒や慎重さを怠らないように。

○諸事 前半見送り 後半建築事

○吉方 開店吉
東・西北
北・北東・南・南西

☆八白土星(盛運期の順調運)

運氣も安定期に入ってきました。諸事も順調に進むでしょう。しかしながら気を緩めたり、自己中心的な言動は孤立化することになります。気を引き締めして一歩一歩前進するよう心がけましょう。

○昭和三十一年生 七十歳

運勢も満願を迎える年です。穏やかな精神で周囲に接することが大事です。怠れば分離事が生じ、孤立を生みますので注意。

○昭和四十年生 六十一歳

願をお受け下さい。自己中心的な言動は禁物です。誤解非難を招き易く不名誉を受けやすくなるので、着実な言動をとるよう心がけて下さい。

○昭和四十九年生 五十二歳

慎重な言動を心がけることにより、生活も安定し、経済的にも恵まれる年です。反面発展的な活動をするには力不足です。又病難に苦しむ相もあります。注意。

○昭和五十八年生 四十三歳

願をお受け下さい。周囲に目配りをして、一歩一歩確実に進むことにより、諸事は順調に進むことと、酒席には特に慎重な言動に心がけましょう。

○平成四年生 三十四歳

諸事は順調に進みますが、慎重さや欠く破壊の原因を生みます。猪突猛進の行動は禁物です。又経済的に下降する相もありますので注意。

○平成十三年生 二十五歳

願をお受け下さい。初め厄年最後厄年です。諸事には慎重に接し、平穏不動な言動に心がけるなら、目上の引き立てもあり、信用も得ることとしましょう。

○諸事 建築事、開店、新規事吉

○吉方 東・南・西
北・東・南・西

○昭和三十年生 七十一歳

運勢も満願を迎えていますので多方面に目配りをして、心穏やかな生活を心掛けることが肝要です。自我心を強く表面に出すと、誤解非難を受けるので今後の為にも注意が必要

○昭和三十九年生 六十二歳

多方面に目を向け、一歩一歩着実に歩むならば衣・食・住(生活)は順調に進むでしょう。しかし手抜きする言動をとると思うようになり、進まず失敗を招くことになり、神社参りをし心穏やかに生活することです。

○昭和四十八年生 五十三歳

歩んだ足跡を検証して今年は何をすべきかを求め、誠心誠意事に当たるならば諸事は順調に進み繁栄をみて名譽、信用を受けることとしましょう。

○昭和五十七年生 四十四歳

経済的にも恵まれる年ですが生活に慎重さは欠ければ破滅や失敗の原因になります。注意を養うことと、特に後半は変化の多い年になるので気配りが大事です。

○平成三年生 三十五歳

願をお受け下さい。精神も安定して目上の引き立てを受け、名譽、信用を得て発展する年です。女性は厄年の年です。凶意が強い年ですので用心が肝要です。

○平成十二年生 二十六歳

運気は上昇運であるが調子に乗って過ぎる言動には充分注意が必要。非難反対を受け、分事も招くことと多し。病難にも注意。

○諸事 建築事、開店、新規事吉

○吉方 北・東・南・西
北・東・南・西



外郭団体便り

令和七年 第六十回伊勢講の旅

甲府伊勢講 講演

小野 忠



瀧原宮にて

第六十回の旅は伊勢神宮新穀感謝祭と皇大神宮別宮瀧原宮参拝の旅に五十二名の参加が有り、令和七年十月二十六日より一泊二日の日程で行いました。この御朱印の旅も今回で五社目となりました。

その内で御朱印が拝受出来る別宮は内宮は、月読宮、瀧原宮、倭姫宮、伊雑宮、外宮は月夜見宮の五社になっています。五年をかけて廻る旅を計画、今年度が最後の皇大神宮別宮の瀧原宮、瀧原竝宮の旅となりました。十月二十七日五時三十分甲斐清和高、旧湯田集会場を小雨のなか五十二名バス二台にて一路伊勢神宮に向け、中部横断、新東名、伊勢湾岸、東名阪、伊勢道をへて十一時三十分雨の豊受大神宮(外宮)に到着、先に(御神楽奉納)素晴らしい舞と澄んだ音色の雅楽演奏、装束もあでやかでいつ見てもすっかり魅了されました。その後御垣内の正式参拝、雨の外宮を後にし、皇大神宮(内宮)へ雨の内、五十鈴川の清流にかかる宇治橋を渡って天照大御神を祀っている内宮の御垣内の正式参拝を無事に終え、おかげ横丁で自由散策、日曜日の午後にもかかわらず多くの人々であふれかえっていました。散策後、伊勢講常宿の鳥羽の戸田屋に到着し入浴後、懇親会では



内宮宇治橋前にて

恒例のカラオケ大会で盛り上がり翌日にそなえました。二日目は、皇大神宮のなかでも「遥宮」と呼ばれるのは大紀町に鎮まる瀧原宮、瀧原竝宮は地元からも厚し崇敬されています。二所の別宮の他の所管社の若宮神社、長由介神社に参拝し、気分も新たに一路松坂市にて思い思いに食事をし、お土産を買い帰路につきました。帰りの車中は思い思いにすごし一路甲府に無事到着しました。伊勢講の旅も今回六十回を迎えられました。この歴史には、関係者、諸先輩方の数多いご苦労が見受けられます。厚くお礼申し上げます。さて六十一回稲積神

社甲府伊勢講の旅ですが、第六十三回神宮式年遷宮御木曳行事になります。「御木曳行事」は伊勢神宮の社殿などの建て替えに使う檜の御用材を、旧神領民である伊勢市民と全国の崇敬者(特別神領民)により、御用材を古式のままに両宮域内へ曳き入れる行事です。内宮は五十鈴川を川曳し、外宮は御木曳車で陸曳します。稲積神社でもすでに七十一名の申し込みがあり、令和十一年六月六日(土)〜六月七日(日)に予定しています。参加の皆様お体をご自愛ください。

第五十二回「ゴルフコンペ」開催される

常若会

磯部 達也

五月十四日に開催されました第五十二回稲積神社ゴルフコンペにて、良いスコアではないのに優勝してしまいました。

このような素晴らしいコンペで優勝という結果をいただき、今、大変驚くと同時に、身に余る光栄と感じております。本当にありが

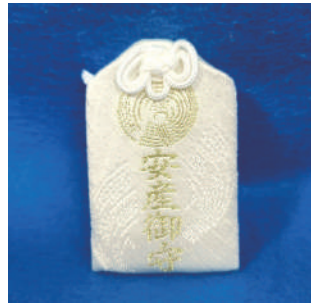


グリーンバレイで参加者と共に

とうございます。これはすべて一緒に回っていたきましたメンバーの運を私が独り占めた結果だと思っております。特に彌宜さんである根津さんとは同級生でして常若会に入る前にも二つ同じ会に入らせていただいておりまして根津さんの誕生日に男二人きりで飲みにいきお祝いをさせていたたくような関係であります。当日もプレッシャーを感じることもなく楽しくプレーすることができました。この優勝を励みに、次回は「実力」で優勝できるように、さらに練習に励みたいと思います。今後も楽しく崇敬会の活動に参加させていただきます。本当にありがとうございます。

令和8年 戌（いぬ）の日カレンダー

1月	12日(月)	仏滅	24日(土)	大安		
2月	5日(木)	大安	17日(火)	先勝		
3月	1日(日)	先勝	13日(金)	先勝	25日(水)	友引
4月	6日(月)	友引	18日(土)	仏滅	30日(木)	仏滅
5月	12日(火)	仏滅	24日(土)	大安		
6月	5日(金)	大安	17日(水)	先勝	29日(月)	先勝
7月	11日(土)	先勝	23日(木)	先負		
8月	4日(火)	先負	16日(日)	仏滅	28日(金)	仏滅
9月	9日(水)	仏滅	21日(月)	赤口		
10月	3日(土)	赤口	15日(木)	先勝	27日(火)	先勝
11月	8日(日)	先勝	20日(金)	先負		
12月	2日(水)	先負	14日(月)	仏滅	26日(土)	仏滅



安産守

安産祈願は神様に参詣し懐妊の報告と無事出産を祈願する行事です。
戌の日が選ばれるのは犬が安産であったため犬にあやかって戌の日に祈願するようになりしました。近年はご都合の良い日を吉日と定めお参りなさる方も多くなりました。

安産祈願の由来

新年祈願のご案内

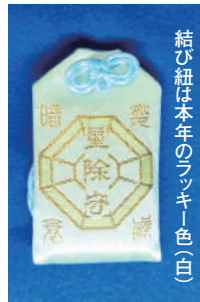
令和八年丙午年を迎え、新年祈願祭を斎行しております。家内安全・商売繁昌・厄除・合格祈願等随時行っております。
初穂料 五千円以上



令和8年昇殿参拝で授与される御札

星除祈願

星除は一白水星、六白金星の方は星除祈願をお受け下さい。



星除守

厄除祈願

運勢学でみる厄年の大厄は衰退期の衰退運に回座する年を言います。男性は昭和六十年生、女性は平成六年生の方です。男性の昭和四十一年生、平成十四年生は生気興隆の為に生気が増大するので注意の厄。女性の平成二年生・平成二十年生は八方ふさぎの注意の厄です。以上の方は厄除祈願をお受け下さい。



厄除守

大厄は三十三歳 数え年とは、満年齢に誕生日前には二歳、誕生日後には一歳を加えた年です。	36歳 平成3年生	32歳 平成7年生	18歳 平成21年生	前厄	女の厄年	60歳 昭和42年生	41歳 昭和61年生	24歳 平成15年生	前厄	男の厄年 (数え年)
	37歳 平成2年生	33歳 平成6年生	19歳 平成20年生	本厄		61歳 昭和41年生	42歳 昭和60年生	25歳 平成14年生	本厄	
	38歳 昭和64年生 平成元年生	34歳 平成5年生	20歳 平成19年生	後厄		62歳 昭和40年生	43歳 昭和59年生	26歳 平成13年生	後厄	

令和八年厄年表
(数え年)

稲積神社 恵方参りの旅 IN伊豆 ~恵方南南東・正式参拝 三嶋大社 参拝~

令和8年2月6日(金)~7日(土)

旅費 35,000円

行程

2月6日(金)	甲斐清和高校 ----- 旧湯田集会場 ----- 国道20号 ----- 御坂峠 ----- 東富士有料道路・	食事 昼 宴
	新東名・伊豆縦貫道 ----- 三嶋大社：正式参拝 ----- 昼食：休憩 ----- 宿泊先 伊東温泉 暖香園 電話：0557-37-0011	
2月7日(土)	ホテル ----- 海産物ショッピング ----- 中伊豆バイパス・修善寺道路 ----- 修善寺 虹の郷	食事 朝昼
	昼食：休憩 ----- めんたいパーク伊豆 ----- 伊豆縦貫道・東名・朝霧高原・精進湖道路 ----- 各地	

◆参拝旅行企画 稲積神社
甲府市太田町10-2 電話:055-233-5573

◆主催 (株)トラベルネット山梨 電話:055-283-3332
ご旅行ご希望の方は稲積神社までお問い合わせ下さい。

いなほ会の設立20周年を祝う崇敬会大祭斎行

残暑厳しく汗ばむ陽気の令和七年九月七日「第二十一回稲積神社崇敬会大祭」が山梨県神社庁副庁長小山利行様、甲府支部長乙黒洋様、衆議院議員中谷真一様を始め来賓の方々、そして八十名の崇敬会会員の参列のもと斎行されました。令和七年は、崇敬会大祭と併せて創立二十周年を迎えた稲積神社外郭団体の「いなづみ会・いなほ会」の奉告祭も斎行されました。神事後の懇親会にて、両会の須田雄明会長、河野敏久会長より、それぞれの会の歩み、会に対してと仲間への想い、崇敬の念のお気持ちなどを含めたご挨拶は、会の運営のご苦労を近くで感じていた私共は胸が熱くなりました。

その後、ご神酒とお料理を食しながらの会は和やかなうちに閉じました。ご参加くださいました皆様には心より感謝申し上げます。只今、崇敬会会員は、百



崇敬会大祭の様子

七十七名です。是非稲積神社の大神様とのご神縁を深めていただく「崇敬会」へのご入会をお待ちしております。



いなほ会会長
河野 敏久

この会は前会長でありました故佐藤久良様の、稲積神



いなほ会会長あいさつ

社との繋がりを大切にしていこうという発案で始まりました。当初は甲府南中学校の同級生十人程で発会しました。宮司さんも同級生です。私は少し遅れて仲間入りしました。正月参拝者への駐車場案内や正ノ木祭りでのビール販売など楽しく奉仕活動してきました。又、伊勢神宮正式参拝や出雲大社例大祭参列などに参加する事ができました。しかし、年月と共に設立メンバーも諸事情で退会し、心もとなくなりました。賛同してくれた方が年齢は様々ですが、少しずつ増えて現在七名になってきています。

佐藤さん亡き後私が会長職に就きましたが、前会長の様な技量はありませんので宮司さん始めメンバーに助けを求めながらもつと盛り上げていきたいと思っております。今後共ご指導賜りますようお願い申し上げます。



いなづみ会三代目会長
須田 雄明

私共いなづみ会も結成から二十年を迎えることとなりました。結成当初は三十歳だった我々も五十路へと足を踏み入れています。二十周年ということで過去を振り返ってみると、いなづみ会結成の動機の一つは神宮式年遷宮のお木曳へ参加することでした。仲間内の飲み会に同級生の欄宜さんが参加するようになり、その中で式年遷宮のお木曳への誘いを頂きました。当時の我々は正直に言えば面白そうだから参加してみたという思いの方が強かったです。

欄宜さんから神社関係者限定だから崇敬会に入会が必要と言われ、そのまゝ入会という流れとなり、いなづみ会が誕生するという運びとなりました。各種神事や奉仕活動への参加は非日常体験の連続で、今も私自

身が楽しいから続けていられます。結成当時は右も左も作法も分からぬ我々も諸先輩方から教えを頂き、何とか二十周年を迎えることが出来ました。その間に少しずつ仲間も増えて九名で奉仕させて頂いております。まだまだ至らぬ点も有ると思われま。これからは御指導

崇敬会のご案内

父母を尊び、先人を敬ひ、子孫を愛する美風は「敬神崇祖」の国風として培われてきました。

崇敬会はこの国民精神を継承すること、稲荷大神様との「ご神縁」を深め、稲積神社の護持発展に寄与し会員相互の親睦を図る事を目的とする会でございます。ご入会を心よりお待ちしております。

- 年会費**
- 特別会員 二万円
 - 正会員 一万円
 - 会員 五千円

特典

- ・会員の誕生日には、当月の月始祭にご案内し、家内安全、身体堅固をご祈願し神札を授与致します。
- ・毎日の朝の日供祭で会員のご安泰をご祈願致します。
- ・会員には神納書を兼ねた朱印帳を交付致します。
- ・正ノ木祭例大祭・崇敬者



いなづみ会会長あいさつ

大祭等神社の祭典にご案内致します。

・参拝の折には昇殿参拝が出来ます。

・当社甲府伊勢講主催の千社詣での集い又本宗と仰ぐ伊勢の神宮新穀感謝祭参拝のご案内を致します。

令和七年表彰者

- ☆神宮大麻特別表彰優良者 権欄宜 土肥 東京
- ☆神宮大麻頒布優良者 総代会長 小尾 武
- ☆頒布優秀神社関係団体 稲積神社崇敬青年会
- ☆総代会規程表彰 稲積神社常若会会長 花輪 武彦
- 稲積神社常若会副会長 河村 由里
- 稲積神社常若会会計 小林 宏至
- 稲積神社敬神婦人会 土屋美佐子
- 稲積神社敬神婦人会 関口 竹子